

各分掌・各学年の学校評価に対する分析と改善策

(第2回学校評議員会及び学校関係者評価委員会をうけての再検討分を含む)

1 総務部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
15 特色ある学校づくり	保護者：H27 85.4%→H28 85.4% 生徒：79%→83.4% <ul style="list-style-type: none"> ・「食楽まつり」や「政宗公まつり」に代表されるように、本校独自の地域協働の行事や「岩高短歌」があることが大きいと思われる。また、学校行事の中にも他の高校では少なくなっている行事も有り、特色として出ている。 ・進路指導の充実が保護者・生徒に特色として現れたのではないかと思う。
17 災害時の避難・連絡	保護者：H27 79.2%→H28 80.9% 生徒：79.4%→83.2% <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルが完成して5年、改善を加えながら今年を迎え、体勢も整い、保護者・生徒への周知も浸透してきた成果であると思われる。今後は防災副読本を使った防災教育について年間指導計画を作成していく必要がある。
18 学校の情報	保護者：H27 85.5%→H28 92.6% 生徒：85.4%→87.0% <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同じく、肯定的な評価を受けている。総務部としては、「ひょうたん池」の発行を計画通りに進められていない状況があるが、「進路便り」や「学年便り」、「学級通信」など先生方が、生徒・保護者に対して積極的に情報を発信している成果が現れていると思われる。
20 学校生活の充実度	保護者：H27 83.4%→H28 81.7% <ul style="list-style-type: none"> ・生徒部や進路部、そして各学年がその時期に適した行事を生徒に提示し、実践していることが大きいと思われる。また、授業においても教務部が掲げる「わかる授業」を先生方が常に思考し、実践していることも大きな要因と考えることができる。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
20 学校生活の充実度	生徒：H27 70.4%→H28 66.7% <ul style="list-style-type: none"> ・内訳を見ると1年生：60.6% 2年生：69.1% 3年生：71.6%となっている。 ・1年生の中に学校生活に対する目的意識が低い生徒がいることや体育館改修に伴い体育館が使用できないことなどの理由が挙げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活の意義を生徒に問いかけながら、今後も粘り強い、指導が必要。

2 教務部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
1 学力向上の授業	義務教育段階の学習内容の学び直し、基礎・基本の定着を図る授業実践、生徒の興味・関心を引き出すような教材の工夫など、授業改善に努めた結果と考えられる。
3 学習指導の効果	少人数授業（習熟度別授業）の実践、グループワーク・ペアワークの積極的活用、ICTの有効的活用など生徒の学びを深めることができるような指導の結果と考えられる。
15 特色ある学校づくり	岩校短歌、漢字コンクール、朝読書、総学のフィールドワーク（課題解決型学習）等の取り組みが特色ある学習活動として評価された結果と考えられる。
20 学校生活の充実度	学習面がどの程度、この項目「自分にとって、学校生活は充実している」に影響を及ぼしているかは計りかねるが、授業の充実が学校生活の充実につながることは確かだと思うので、今後も上述のような取組を継続し、生徒が分かる・考える授業を実践していく必要がある。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
2 家庭学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者の肯定的評価割合がほぼ同じ数値であることから、実態そのもの（家庭学習に取り組む生徒約3割）と考えられる。 家庭学習をする習慣がなく、国・数・英の週末課題への取組だけでは、「家庭学習の習慣が身につけている」とはいえない。 週末課題は学校で休み時間等に行っている生徒も多いようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化に向け今後も週末課題を継続的に課す。 調査前に家庭学習をする生徒は7割近くおり、その意識を普段の家庭学習につなげたい。まずは、調査前の学習時間を増やすなどの意識づけを行いたい。 「どうすれば家庭学習をする気になると思いますか」との問いに44%の生徒が「授業が楽しい（分かる）と思えば」と回答しており（学習に関する調査より）、分かる授業の実践や生徒が興味・関心をもてるような教材の工夫に今後も努めたい。 看護学校や公務員希望者などの進路にも対応できるような指導（基礎・基本の確実な定着を図る授業や発展的な内容を含む課外添削など）に努める。

3 生徒指導部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
4 基本的な生活指導	あらゆる機会をとらえて、指導方針を伝え、全職員で粘り強く指導にあたった成果と考えられる。
5 生活指導方針	
6 生徒の健康管理	日頃から健康観察を行うとともに、個別には保健室利用者へ自己管理にむけた指導を行い、全体へは保健便りや保健講話を通じて指導を行っている成果と考えられる。
7 教育相談	教員が日頃から生徒の相談に応じ、また、カウンセリングに関する情報を随時提供している成果と考えられる。
15 特色ある学校	生徒会として、地域の行事に積極的に参加している成果と考えられる。
16 ボランティア	生徒会として、また部活動（ボランティア部・野球部等）として、積極的に活動している成果と考えられる。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
8 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・常時活動している部や部員が少ない。 ・大会等で大きな成果があげられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に部活動に取り組むよう働きかける。 ・全員加入制維持。
9 生徒会活動	（職員で12.6ポイント減） <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な活動が少ないためか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ自主的な活動を促す。
11 いじめ対応	（但し、前年比5ポイント以上増。教員は97.5%の肯定的評価） <ul style="list-style-type: none"> ・当事者以外の生徒や保護者には、対応していることが、十分に見えないからか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい個別の対応を継続するとともに、全体への働きかけや保護者への情報提供も必要に応じて行う。
20 学校生活充実度	（生徒で66.7%。生徒1年19.9ポイント減） <ul style="list-style-type: none"> ・指導が厳しいことに対して、自由度が少ないとマイナスにとらえたためか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動（とくに授業）、学級活動、行事、部活動など、本来の学校生活を充実できるように指導し、働きかける。
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活性化 ・生徒指導をもっと厳しく（平等に）通学時のマナー・容儀・授業態度・挨拶 ・清掃の徹底（とくにトイレ） ・イエローカードに対する不満 ・カウンセラーを増やす ・挨拶運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して粘り強く指導を徹底する。必要に応じて巡回指導を実施する。 ・清掃のし方から指導する必要がある。スマホの使用制限も効果があるか。 ・イエローカードは一定の歯止めになっている。制度維持。 ・回数・人数を増やすよう県に要請する。 ・担当曜日に部員が挨拶運動を行うよう、指導を徹底する。

4 進路指導部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
10 有意義な学校行事	この項目では、進路行事というよりは、体育祭や岩高祭などの生徒会行事の盛り上がりがこの数値に反映しているように思われる
12 進路選択の指導	特に3学年の数値が、保護者で昨年75.7%から今年88.4%。生徒では昨年77.2%から84.7%と昨年度に引き続き伸びたが、日頃の特に3学年の先生方（特に各学年主任や担任の先生方）の生徒たちの進路を見据えたきめ細かいご指導の結果だと思われる。 今後とも、お願いしたい。
13 進路達成の指導	昨年度との比較では大きく変わらないが、特に3学年の保護者・生徒ともに高い数値で評価いただいていることはありがたい。3学年の生徒が高い決定率で進路を決定していることを踏まえての評価であろうと思われる。
15 特色ある学校づくり	進路関係の行事がこの評価と直接結びついているかどうかは定かではないが、日頃の本校の取り組みを肯定的にとらえて頂いている方が多いことが有難いことです。
20 学校生活の充実度	生徒会行事（特に体育祭や岩高祭）の盛り上がり、学校生活の充実度に反映されているように思われる。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
13 進路達成の指導	2学年の特に保護者の方での評価が低い、進路関係の行事が少ないことや情報が流れてこないことへの不満もあり得る。	例年、10月下旬ごろから1・2年対象の進路情報が出始めており、その都度、当該学年の進路部の先生を通して生徒には紹介してもらっているが、その状況が保護者には伝わっていない。「進路部だより」などで紹介できればと思う。
14 進路情報提供・相談	昨年度とさほど数値は変わらないが、全体的に微減している。	「進路部だより」では、昨年度から情報量を減らし発行部数を増やす試みをしようとしているが、なかなか思うように発行できていない。努力していきたい。

5 1 学年

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
2 家庭学習の習慣 (生34.0△11.3)	ポイントは高くないが、昨年よりも高い割合の生徒が、家庭学習の習慣があると自己評価をしている。この3割ほどの学習意欲の高い生徒を伸ばしながら、その学習に向かう「頑張る」姿勢を認め、支えることで、そのプラスの雰囲気や学級や学年に波及させていきたい。
4 生活指導の実施 (保 85.5・生 88.5)	学年の教員のみならず先生方の力をいただきながら、生活指導についての声掛けができているため、肯定的な評価となっている。しかしながら、生徒の容儀や生活態度にはまだまだ改善の余地が多く、今まで以上の働きかけをしていかなければならない。
5 生活指導方針の明示 (保79.2・生81.7)	

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
2 家庭学習の習慣 (保 22.6・生 34.0)	学習に意欲的ではない生徒、また、意欲はあるものの学習の方法がわからない生徒の存在。	<ul style="list-style-type: none"> ・上述のとおり、学習意欲の高い生徒の姿勢を模範としながら、その影響を全体に波及させていく声掛けや授業づくりに努める。 ・授業においては、学習内容のみならず学習方法についての指導をしていく。 ・先を見通して計画的に物事を進めることができない傾向の生徒が多い。将来の進路目標を常に意識し、目標達成の為に自発的に行動できるように面談や声掛けを随時行う。
7 相談体制 (生 72.1▲16.5)	<p>昨年の生徒に比べると、学校生活に意欲的でない生徒が多い。そのような雰囲気や影響されたり、思い描いていた高校生活を送れていないと感じていたりする生徒が一定数存在すると考えられる。</p> <p>また、そのような悩みや問題を抱えながら、教員に相談できずにいる生徒がいると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上述のとおり、生活指導、進路指導、学習指導を柱に、自己を磨くという視点で充実した高校生活になるように働きかけを継続する。 ・個別面談をより積極的に行い、生徒との信頼関係づくりをする。
20 学校生活の充実 (生 60.6▲19.9)		
3 わかる授業 (保 62.3▲12.7)	昨年に比べて、保護者からの肯定的評価が10ポイント前後減少した項目。	<ul style="list-style-type: none"> ・上述のとおり、生徒の学校生活を充実させる。 ・行事や生徒の様子、学校や学年の方針等を、便りを活用して発信する。※自由記述にも要望あり。
5 生活指導方針の明示 (保 79.2▲9.8)	生徒の高校生活への満たされない感情が、家庭での様子に反映されるため、保護者からの肯定的評価の減少につながったと考えられる。	
10 有意義な学校行事 (保 75.4▲10.5)		

6 2 学年

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
5 生活指導方針 (生徒15.9%増加)	【生徒68.2%→84.1%】 昨年1年間、生活指導について話す機会が多かった。2年生になりその生活指導内容について理解度が深まったからと考える。
1 2 進路目標の明確化 (保護者1.2%増加) (生徒10.9%増加)	【保護者69.6%→70.8%】 【生徒64.7%→75.6%】 進路選択に必要なガイダンスや講話、職場体験実習など、進路目標をしっかりと定めるための機会が多々あったからと考える。
1 5 特色ある学校づくり (生徒11.3%増加)	【生徒76.5%→87.8%】 今年は地域の大きな行事である政宗公まつりに、全校で参加できたことが地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに繋がったと考える。
1 8 学校の情報 (保護者4.2%増加) (生徒17.1%増加)	【保護者87.5%→91.7%】 【生徒78.0%→95.1%】 学級だよりや学年だよりが、生徒を通してしっかり家庭に届いていたからと考える。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
2 家庭学習習慣 (保護者15.1%減) (生徒12.6%増加)	【保護者33.9%→18.8%】 【生徒11.8%→24.4%】 将来の夢の実現のために、今何が必要なのか理解し始めた生徒は取り組んできているが、それ以外の生徒は何も取り組んでいないからではないか。	週末課題等を徹底し、将来の目標に向けた準備を個々でしっかりできるように声がけする。
1 0 有意義な学校行事 (保護者14.6%減) (生徒4.1%増加)	【保護者87.5%→72.9%】 【生徒67.9%→72.0%】	学校での様子や行事等を、自ら家庭へ伝えるように働きかける。
2 0 学校生活の充実度 (保護者18.7%減) (生徒3.2%増加)	【保護者87.5%→68.8%】 【生徒65.9%→69.1%】 生徒はポイントが上がっていることから、生徒たちは有意義な学校行事や充実した生活を送っていると思う。しかし、そのことを家庭で話題にしていることから、子供の学校生活の様子の情報が不足しているからではないか。	
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> 授業中うるさくする生徒がいる。 通学路の歩き方が悪く、車がきてもよけない。 職場体験を自分の将来にあったところに行かせて欲しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中できる環境作りを各教科で行っていく。 通学路での歩行指導、巡回指導を強化する必要がある。 5月下旬に希望調査を行っているので、11月の体験までに進路先が変更した生徒には柔軟に対応していく。

7 3学年

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
2 家庭学習習慣 生徒18.2増 保護者13.5増	就職・進学試験に向けて取り組んだ生徒が多かった結果であると考ええる。
12 進路目標の明確化 保護者12.7増 13 進路実現に向けた指導 生徒8.1増	進路が早めに決定したための結果であると考ええる。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
4 基本的な生活習慣の指導 生徒9.9減 保護者7.6減	もう一度、職員全員で共通した指導が必要であるという警告 保護者は生徒からの情報を元に評価しているのではないか。	欠席・遅刻・早退は自分自身の進路決定時に大きく影響するので1年生からしっかりと指導しておくことが必要。
自由記述	○生徒：3年生になり、客観的に分析できるようになってきたという成長の証でもある。 ○保護者：細かいところまで見て下さっている保護者の方の貴重な意見を真摯に受け止め、改善できるところは改善していく。	○生徒指導については職員一丸となって継続して取り組んでいく。 ○清掃分担区の清掃の強化 ○生徒とのコミュニケーションの充実

8 事務部

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
自由記述	① 部活動の施設が直されていない。 （1-1 保護者） ② トイレを洋式に変更した方が良い。 （2-3 保護者） ③ ストープを変えろ。 （2-2 生徒） ④ 屋上を開放する。 （2-3 生徒） ⑤ 職員室にエアコンを入れてほしい。 （職員）	① 弓道場の復旧が遅れており、今後も早期着工を関係機関に働きかけていく。 ② 生徒の生活様式の変化への対応やバリアフリーの面からも必要と思われるので、改修可能かどうかを検討していく。 ③ ストープの老朽化が進んでおり、適当な更新時期と更新方法を検討していく。 ④ 安全管理の面で屋上の開放はできない。 ⑤ これまでも予算要求しており、今後も引き続き要求していく。